

# S S T P (Shoyo Simple Teaching Plan)

単元デザイン

教科・科目	地理歴史・地理A	学科・コース	1年 普通科			
単元名	自然環境と防災 (第一学習社 新版 地理A)					
単元目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の生活圏で見られる自然災害を基に、地域の自然環境の特色と地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解する。</li> <li>・ハザードマップや地形図等の地理情報から、必要な情報を収集し、読み取り、まとめる地理的スキルを身に付ける。</li> <li>・地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、「自然災害に対して、私たちはどのような対策を取るべきか」などを、多面的・多角的に考察し、表現する。</li> <li>・自らの生活圏における防災対策について、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究しようとする態度を養う。</li> </ul>					
課題	あなたは鹿児島市の天文館で家族と買い物をしています。するとかなり大きな揺れの地震が発生しました。地震の規模も大きく、あなたは家族とともに避難することにしました。どの道を通ってどこに避難しますか？					
単元の中心となる問い	自然災害に対して、私たちはどのような対策を取るべきか。					
評価規準 (B段階)	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の生活圏で見られる自然災害を基に、地域の自然環境の特色と地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解している。</li> <li>・ハザードマップや地形図等の地理情報から、必要な情報を収集し、読み取り、まとめている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、「自然災害に対して、私たちはどのような対策を取るべきか」などを、多面的・多角的に考察し、表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自らの生活圏における防災対策について、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</li> </ul>			
	SP9	(基)	見	創	(分) (発)	
			奏	彩	(連) (寄)	
評価場面 ・ 評価方法	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ活動</li> <li>・発表</li> <li>・ワークシート</li> <li>・定期考査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ活動</li> <li>・発表</li> <li>・ワークシート</li> </ul>			
単元の 指導計画	時	学習活動	指導と評価の観点			
			知	思	態	SP9
	1	日本列島の気候と地形	○			基礎力
	2	火山災害と水害・治水	○	○		基礎力
	3	地震・津波と防災	○	○		基礎力
	4	鹿児島市における自然災害と対策		◎	○	分析力
5	パフォーマンス課題 (本時)		◎	◎	連携力 発信力 寄与力	

※本時の実際は裏面にあります。

# S S T P (Shoyo Simple Teaching Plan)

授業デザイン

日時	令和3年11月5日(金) 6限目	指導者	坂口 琢真	
学級	1年3・4組(地理選択者29名)	場所	1年4組教室	
単元名	自然環境と防災(第一学習社 新版 地理A)			
課題	あなたは鹿児島市の天文館で家族と買い物をしています。するとかなり大きな揺れの地震が発生しました。地震の規模も大きく、あなたは家族とともに避難することにしました。どの道を通ってどこに避難しますか？			
本時の実際	過程	主な学習活動	資質・能力の育成の工夫	SP9
	導入(5分)	<p>【本時のねらい】課題を追究する活動を通して、生活圏で想定される自然災害に対する適切な行動や、日常生活の中での防災について考察し、表現する。</p> <p>◇本時の課題を確認する。</p>	<p>・評価規準及び関連するSP9について確認する。</p> <p>・単元を中心となる問い「自然災害に対して、私たちはどのような対策を取るべきか。」を意識させる。</p>	
	展開(15分)	<p>(問)どのような災害の発生が予想されるだろうか。それに対してどのように行動すべきだろうか。</p> <p>◇DIG(災害机上訓練) 地形図、ハザードマップ、これまでの学習内容及び生活経験を基に、想定される災害とそれに対する適切な行動について考察する。</p> <p>◇各自の考えをグループで発表、議論し合い、グループの考えとしてまとめる。</p>	<p>・考察したり、議論したりする際には、論理性に欠ける考えや、非現実的な考えに陥らないよう、妥当性や効果、実現可能性などを指標に考察したり、議論したりできるよう指導・助言する。</p> <p>・グループでの議論を通して新たな視点から多面的・多角的に考察することができるように工夫する。</p> <p>◎思判表 事実を基に概念等を活用しながら、多面的・多角的に考察している。(グループ活動、ワークシート)</p>	連携力
	展開(20分)	<p>(問)各グループの考えについて、その妥当性や効果、実現可能性は十分だろうか。</p> <p>◇グループごとに考えを発表する。</p>	<p>・発表に当たっては、ICT機器の活用を図り、分かりやすく効果的な発表となるよう指導・助言する。</p> <p>◎思判表 論拠を基に自分の考えを分かりやすく説明している。(発表)</p>	発信力
	まとめ(10分)	<p>(問)私たちの住む地域について防災上の課題だと思ったことは何か。また、日頃どのような備えが必要だろうか。</p> <p>◇グループごとの発表を踏まえ、授業の振り返りを行う。</p>	<p>・他のグループの発表を聞いて、気付いたことや新たに生じた課題などを踏まえて考察させる。</p> <p>◎態度 生活圏の防災対策についての関心を高め、学んだことを実生活に適用しようとしていたり、これからの学習に意欲的に取り組もうとしていたりしている。(ワークシート)</p>	寄与力